

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヴィストカレッジ富山駅前		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 12日		～ 2025年 12月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	90名	(回答者数) 76名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 12日		～ 2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフの言葉遣い、態度、身だしなみ	一人ひとりが利用者に寄り添った対応を心掛けている。 希望がある場合には時間を設け、個別相談にも応じている。	利用者の話を支援外でも聞き、安心して過ごせる環境を作る。
2	小・中・高生それぞれのニーズに応じた支援プログラムや支援ツールが充実している	小学生から高校生まで幅広く楽しむことができる運動器具やボードゲーム等の導入、イベントの実施を行っている。また、中高生に向けた仕事体験や就労ニーズに合わせた支援プログラム等を実施している。	フォーマルアセスメントが行えるワークツールの導入を検討する。
3	個別支援計画に基づいた支援ができています	保護者との面談を通し、具体的な主訴、ニーズの聞き取りを実施している。個別支援計画は回覧し、各スタッフから修正点があるかを確認した後、会議にかけ最終調整を行っている。	継続して行ってほしい支援について、ケア記録を通して次のワーク担当スタッフにも連絡をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校連携や保護者会、感染症マニュアルなど公開している情報について、保護者の全体認知が進んでいない。	保護者がエントランスを使用する機会が少なく、カレッジエントランス内の掲示物を見る機会に限られる。学校連携についてもニーズに応じて連携を行っているが、十分な周知ができていないとは言い難い。	・LINE、メール等を活用し、公開情報をお知らせする ・カレッジだよりを活用し周知の強化を行う。カレッジだよりも目を通してもらえるよう発送時にはどのような内容があるかを記載しておく。
2	スタッフ人員が満足に確保できていない	OT、STが不在のため支援内で言語や作業療法について詳しく見ることが難しい現状。	・グループ内にOT、STスタッフがいるため必要に応じて見てもらうよう要請をする。
3	集団活動後の振り返りについて、満足にできていない	集団活動終了後、片付けや利用者への対応に追われることから集団活動についての反省点や利用者の様子などが満足に共有できていない。	集団活同の振り返りはいつから行うのか、時間を明確にし、片付けが途中で始められる環境づくりをしていく。また、集団活動に参加していないスタッフとも連携し代わりに片付け等を行う。